



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

HP: [ひぐち英明](#)

検索

第342号 2018年10月1日

連絡先:日本共産党左京地区委員会 TEL761-6341

:左京生活相談所

TEL781-6622

職員削減方針の転換こそ必要 災害対策を具体的に提案

9月の決算市会が始まっています。9月27・28日には各党の代表質問が行われました。この間の地震・豪雨・台風などへの対応に対する対策について、どの党も取り上げたのは共通していますが、共産党は加藤あい市議が避難所の改善、被災者支援策などについて具体的に提案しました。他党との違いが際立ったのが、人員体制の充実についての提案です。



人手が足りず、り災証明書の発行も
1カ月~2カ月待ちという状況

■ 職員削減を誇る市長

門川市長はこの議会でも、自分が市長になって以来、3,215 人もの職員削減を行ってきたことを「成果」として語り、この先も「さらに職員削減を進める」としています。そして、自民・公明・国民民主もその提案を当然

のものとして賛成していますし、京都党や維新の会は全体として「もっと削るべき」と主張しています。

■ 日常の職員体制を増やすことこそ必要

しかし、災害の際に最も必要とされるのは、対応に当たる人員体制の確保です。7月豪雨の際には左京区の全学区に避難勧告等が出され、3日間も避難所が開設されましたが、その運営は地域の自主防災会や自治連などに任せられ、避難所に常駐した区役所職員はいませんでした。今の区役所の職員体制では、常駐したくてもできないというのが実態です。

この間、本来市職員が行うべき仕事（例えば市営保育所の運営や「民泊」営業への対応など）を、民間委託や臨時職員で代替することで、職員削減が次々に行われてきました。この方針を改め、市の業務は市の職員が行うという本来のあり方に戻し、日常の職員体制を増やしておけば、災害時でもより充実した対応ができるようになります。

■ おおもとにある安倍政治の転換を

市長は職員削減の理由として、財政が厳しいことをあげていますが、そのおおもとには、職員削減を前提に自治体予算を削減してきた安倍政権の政治があります。この政治を転換させる努力とともに、京都市独自の努力として徹底的にムダ遣いをあらため、市民の命と安全を守る予算へと抜本的な転換を図ることが必要です。

京都まつり・左京区集会であいさつ

9月24日、京都まつりが宝ヶ池公園北園で行われました。

その会場で、左京区集会も行われ、左京4人の府市会議員

団と倉林明子参院議員・井上さとし参院議員もあいさつ。

私は、国と同様に京都市でも行われている、大企業の利益のために、市民の暮らしと命が脅かされている状況を何としても変えていく決意を述べました。



写真トピックス

←左京・沖縄連帯集会



戦争法強行3年目に抗議
・左京みんなのデモ
と市役所前集会→



←別所区民運動会を見学

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

妻が長男（高校3年）の先生に電車で偶然会いました。家に帰ってきた妻が「先生に電車で会ったよ」と長男に声をかけたところ、「えっ、何か言ってた？」と大変動揺した返事。その後、「今は、何も後ろめたいことないからよかった」と自分を納得させるようにつぶやいていました。親の知らないところで、なんだかいろいろとやらかしていそうです。